

Title	執筆者紹介
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1964
Jtitle	史学 Vol.37, No.1 (1964. 6) ,p.111- 111
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19640600-0111

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

に至つた。この度柳谷武夫氏によりその全訳を見る機会を得たことはまことに喜ばしいことである。はしがきにもある通り、訳者は昭和九年から訳稿を起し、すでに幾度か稿を改めたとのことである。筆者も嘗てこのことを訳者より親しく聞き、首を垂れる思いであつた。思えば十二、三年前、学生の頃、吉田小五郎先生から本書の出版の話を伺つて以来、その時の来ることを待望し続けてきたのである。いつかは訳者の語るように、ポルトガル語の原文から訳出さるべきものであるが、それと共にこのドイツ語訳からの訳書もいつまでも利用されるであろう。何故ならば底本がフロイス研究の權威者でもあるシュールハンマー師の手で綿密に翻譯され、校註を施されたものであり、又閱歴からみて、この度最もふさわしい訳者を得たからである。

訳文は隅々にまで推敲のあとが見られ、新に柳谷氏の附した巻末の訳註と三葉の地図と共に本書を一層読み易くしている。氏は更にザビエル像、島津貴久像をはじめ、南蛮屏風中のバテレン像の写真を随所に挿入し、一般の読者の興味を誘うよう工夫を施している。この意味で本書は柳谷氏の人柄がにじみ出ていると評して間違ひなからう。二巻以下の続編の発刊が待たれる所以である。

終りに臨んで紹介が偏見に墮し、本書の真価を傷けることのあるを惧れる次第である。

批評と紹介

執筆者紹介

竹田龍児	慶応義塾大学文学部教授
森岡敬一郎	同 助教授
清水潤三	同 教授
高瀬弘一郎	同 助手
鈴木公雄	同 大学院博士課程
中井信彦	同 教授
高橋正彦	同 助手
岩谷十二郎	同 幼稚舎教諭